

〈受賞者の声〉

令和3年度 功績賞

EICA 前事務局次長 福嶋良助

約2年に亘り人類に試練を課してきた感染症『コロナウイルス』がどのように終焉を迎えるのか極めて重要な時期を迎えています。開発されたワクチンがようやく多くの人々に普及されてきており期待通りの効果を得ることを祈念したいと思います。厳しい環境下ですが2020東京オリ・パラが無事に開催され明るい世相を迎えたいですね。



令和3年度 EICA 総会で『功績賞』を授与して頂き身に余る名誉を頂きました。有難うございます。受賞の対象は学会の将来を担う人材育成を狙いに企画しました“未来プロジェクト”を長きに亘ってお世話させていただいた事との事、京都大学の清水先生と共に十数年になります。東大の味埜先生の賛同も頂き、東西のプロジェクトが展開出来ました。また学会の賛助会員企業から支援を頂き、夫々の企業や大学などの次世代を担うべき優秀な若者の参加が得られ十数年で300名近い方々の参加を頂きました。今後の当学会を担って頂くことを期待いたします。

私は65歳で堀場を完全退社し、一昨年に学会を引くことにしました。今までお世話になってきました職場・学会関連と公的な縁を切り、気楽な毎日を送っております。その一方で社会的なしがらみを失うことで“ボケ”が始まる事が無いよう地域社会に絡んでいきたいと思っております。また退職を機会に犬を飼うことを決めました。〈柴犬で男前の雄犬を選びました。犬の寿命15年と私の寿命80歳(65歳+15年)も競争としています。〉

功績賞のお祝いとして何か要望を聞いていただき、『散歩用のランニングシューズ』お願いし、5年間毎日毎日1.5時間6kmの散歩を継続しています。申し分なく良くできた柴犬で、満足しております。可愛いものです。

最後に学会の皆さまのご健康と学会のご発展を祈念致します。有難うございました。

